

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 10月

令和3年10月1日の推計人口 1,294,998人
世帯数 559,948世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和3年10月1日現在の推計人口は、1,294,998人で、前月(1,295,878)に比べ880人の減少となった。

市部では、大村市(55)の1市で増加し、長崎市(△370)、佐世保市(△159)、雲仙市(△53)、対馬市(△52)、島原市(△48)、南島原市(△38)、五島市(△26)、西海市(△26)、壱岐市(△23)、平戸市(△17)、諫早市(△8)、松浦市(△4)の12市で減少した。

郡部では、時津町(7)、佐々町(6)の2町で増加し、長与町(△61)、新上五島町(△25)、東彼杵町(△16)、波佐見町(△12)、川棚町(△9)、小値賀町(△1)の6町で減少した。

自然動態は、出生数778人、死亡数1,386人で608人の減少、社会動態は、転入者数2,494人(県内転入を含む)、転出者2,766人(県内転出を含む)で、272人の減少となった。

2 世帯数

令和3年10月1日現在の世帯数は、559,948世帯で前月(560,262)に比べ314世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 8月

1人当たり現金給与総額 259,300円
対前月比 23.9%減少
対前年同月比 2.8%減少

1 賃金

8月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は259,300円で、前月に比べ23.9%減少し、前年同月に比べ2.8%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は246,129円で、前月に比べ3.1%減少し、前年同月に比べ3.4%減少した。

特別給与額は13,171円で、前年同月に比べ、1,208円増加した。

2 労働時間

8月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は144.3時間で、前月に比べ4.7%減少し、前年同月に比べ0.3%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は134.3時間で前月に比べ4.5%減少し、前年同月とほぼ同値であった。

所定外労働時間数は10.0時間で、前月に比べ6.6%減少し、前年同月に比べ3.9%減少した。

3 雇用

8月の常用労働者数は220,210人で、前月に比べ4.4%増加し、前年同月に比べ4.8%増加した。

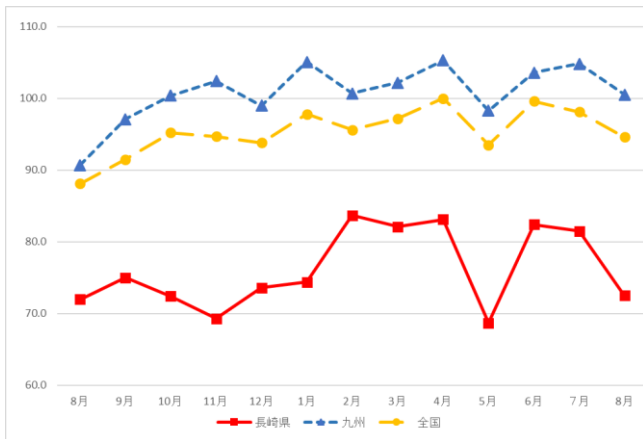
【鉱工業生産指数】……………8月

令和3年8月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
	前月比(%)			
長崎県	72.5	△11.0	71.0	5.8
九州	100.5	△4.1	93.3	11.1
全国	94.6	△3.6	86.8	8.8

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2021年8月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が72.5で対前月比は11.0%の減、原指数は71.0で対前年同月比は5.8%の増となった。

業種別にみると電気機械工業、食料品工業など5業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業など8業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	43.1	交流発電機
食料品工業	1.4	アルコール

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	△20.9	蒸気タービンの部品・付属品
電子部品・デバイス工業	△18.3	半導体集積回路
輸送機械工業	△11.8	修繕船

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………9月

総合指数(R2=100)	100.3
対前月比(%)	+0.6
対前年同月比(%)	+0.1

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、100.3である。

前月比0.6%の上昇で、主な上昇要因は「食料」の+2.2%、「被服及び履物」の+6.2%であり、主な下落要因は「保健医療」の△0.2%、「交通・通信」の△0.2%である。

前年同月比は、令和3年5月は△0.8%、6月は△0.4%、7月は△0.6%、8月は△0.3%と推移した後、9月は+0.1%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は99.8で前月比は+0.1%であり、前年同月比は△0.1%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

被服及び履物	6.2%
食料	2.2%
光熱・水道	0.6%
諸雑費	0.2%

▽同水準の費目

教育	±0.0%
----	-------

▽下落した費目

家具・家事用品	△1.6%
教養娯楽	△1.2%
住居	△0.2%
保健医療	△0.2%
交通・通信	△0.2%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……9月

消費支出(一世帯当たり)	239,696円
前月比	23,792円減(9.0%減)

令和3年9月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は239,696円で、前月比9.0%の減、前年同月比は27.4%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は80.9%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。